

## 令和3年度 第1回昭和町総合教育会議 議事録

1 日 時 令和4年2月15日(火)  
開会 午前10時00分 閉会 午前11時15分

2 会 場 昭和町中央公民館第2会議室

3 出席者 町 長 塩澤 浩  
副町長 渥美 幸久  
教育長 太田 充  
教育委員 石原 保夫  
教育委員 山田 由美  
教育委員 磯部 幸廣

(事務局関係)

総務課長 秋山 隆  
教育委員会学校教育課長 神澤 卓見  
教育委員会生涯学習課長 山本 靖  
総務課総務係長 小宮山 和俊  
教育委員会学校教育課教育指導監 雨宮 洋  
教育委員会学校教育課学校教育係長 細田 忠司

4 協議事項 (1) 次期教育大綱を見据えた昭和町教育方針について  
(2) その他

別紙（議事詳細）

- 1 はじめの言葉（秋山総務課長） 資料確認 資料3種類
- 2 町長あいさつ（塩澤町長）  
※あいさつ内容は省略
- 3 前会議事録確認  
小宮山総務係長より、令和2年度第1回総合教育会議議事録の確認について説明を行った。
- 4 議事
  - (1) 次期教育大綱を見据えた昭和町教育方針について
    - ①昭和町教育方針（昭和町教育大綱概要）
    - ②次期教育方針（大綱）を見据えた昭和町教育施策について
    - ③令和3年度昭和町教育施策の実施状況
    - ④令和4年度昭和町教育施策（案）

はじめに①昭和町教育方針（昭和町教育大綱概要）から③令和3年度昭和町教育施策の実施状況について学校教育課長が説明を行った。

（秋山総務課長）

ただいま学校教育課から説明がありましたが、これに対してのご質問やご意見がありましたらお願いします。

（石原委員）

プログラミング教育のサポーターは1名で4校なのか？

（神澤学校教育課長）

2名で町内4校を担当している。

（石原委員）

2名で4校担当は足りているのか。

（神澤学校教育課長）

国からのサポーター事業への補助が3月いっぱい終了となる可能性がある。このままサポーター事業を終了することはできないので、来年度に向けサポーターの継続等を検討している。

(山田委員)

教育方針について年度ごとの重点項目に星印がついているが、どのようにしているのか。

(太田教育長)

現計画の作成時には私は携わっていなかったので詳細は不明だが、星印は重要項目、他の方策とのバランスを見ながら導入と検証を行っているためこのような重点項目になっている。各項目について、実施と検証を繰り返していく。

コロナ禍で予定どおり進んでいない事業もあるが、取捨選択しながら事業を行っている。

(山田委員)

教育施策の実施状況について、「6. スポーツ人口拡大後社会体育の振興について」が記されているが、「中学校の部活動への指導支援体制の取り組みについて現状はどうなっているのか。

(神澤学校教育課長)

現在2名が外部指導者となっている。来年度は増員も考えているが現時点ではまだわからない。

(山本生涯学習課長)

教員が指導者となることで指導者の負担増ということになる。国から中学校の部活動は外部指導者の活用や、地域指導者を活用するといった方針が出ているので、総合型地域スポーツクラブ「キャメリア」が窓口となり、指導者の派遣を試行的に行いたいと考えている。

(石原委員)

にじいる教室の運営についてについて、現在の具体的な動きはどうなっているのか。

(神澤学校教育課長)

中央市と様々な協議がなされたが、現時点では来年度事業継続予定、1年間の期限付き運営と言うことになっている。今後町単独で事業を継続していきたいと考えている。令和4年度に準備をして同5年度からは単独設置が出来ればと考えている。

その他意見無し。

(秋山総務課長)

議事④「令和4年度昭和町教育施策(案)」について説明をお願いしたい。

(神澤学校教育課長)

令和4年度昭和町教育施策(案)について説明。

SDGsの推進を新たに加えたことが大きな変更点になっている。

(秋山総務課長)

この説明に関して、意見等があればお願いしたい。

(磯部委員)

この計画は令和4年度ですべて終了する施策なのか、終了時期はいつになるのか。

(神澤学校教育課長)

昭和町教育施策スケジュール内に次期教育施策に盛り込む予定なので、令和5年度以降の終了施策となる。

(磯部委員)

教育施策に付番されている番号は、優先順位としての番号なのか。

(太田教育長)

どれも重要な施策ととらえている。その中でも重要度で付番した。

ふるさと教育は「昭和町の資源は人と」考えて、ふるさと教育の推進をしていきたい。

(石原委員)

この計画の実施は、令和5年度からか。

(神澤学校教育課長)

教育施策は令和5年度以降である。

(石原委員)

可能であれば令和4年度からが実施していくのがいいのではないか

(太田教育長)

4年度この方針で行く予定、本日いただいた意見を定例教育委員会で検討し、教育施策に反映させていきたい。

(磯部委員)

この計画は各年度で教育大綱のスケジュールのようにしていくのか。

(太田教育長)

「実施して、検証していく」このような流れでいきたい。この9項目は、全て重要ととらえ、昭和教育で全部に注力しなくてはいけない9項目であると考えている。

(磯部委員)

教員は異動が付きまとっているの、いい教員がいても異動でいなくなってしまうといったことがある。それを補完するシステム作りをしていただきたい。

例えば、英語教育などにおいて教員が異動してもその後もうまく機能していくようなシステム作りをしていただきたい。

(太田教育長)

毎年山梨県教員異動率は毎年25%前後ある。人事異動で昭和町の英語教育に携わった教員が異動すると新任地で新たに英語教育が盛んになるのではと思っている。この事がいずれは山梨県全体の英語教育の底上げにつながるのではないかと考えている。

昭和町は小さな町だけに、小回りが利くのでいろいろな事業に取り組んでいると考えている。

(磯部委員)

現在コロナ禍で人とあまり関われないが、将来的に子どもたちが職業選択をする際、人と関わる仕事が重要になってくると思う。それらをふまえた教育をしていただきたい

(太田教育長)

近年キャリア教育ということを重視している。コロナ禍前は地域の人に協力いただき200人くらいの方に講師をしてもらったりしていた。今後も地域の人に講師になってもらうこのような事業を続けていきたい。

(山田委員)

近年小学校の体力が低下していると聞いている。

小学校放課後の体力向上について4年度の教育施策の8で謳っているが、教員のマンパワーが不足していると思われるので、教員の負担軽減を考慮し外部の活用を考えていただきたい。

(山本生涯学習課長)

カメラリアの活用を考えており教員の負担軽減を狙っている。

(山田委員)

新たにSDGsの項目が入ったが、授業に取り入れてSDGsについて取り組むのか。

(太田教育長)

今回の教育施策にSDGsの取組を取り入れた。教育施策の4に文科省にESDの推進ということが言われている。現在教育課程を製作しているがその中にSDGsの視点をいれた。社会全体がSDGsに取り組んでいきたい。令和4年度はSDGsで何ができるか模索し、令和5年度はそれを具現化していく予定。

他に意見無し

・その他について

事務局より

(太田教育長)

キッズデイを昭和町で実施しているが、コロナ禍で今後のキッズデイをどのようにしていくのがいいか模索している皆様から意見があればいただきたい。

(雨宮指導監)

どのような体験を誰とどこですか。国は総務省が音頭を取って国の施策の一環として実施している。

国は働き方改革の一環と位置付けているので、学校行事としてとらえると無理がある。

保護者の休暇の確保であったり、キッズデイに子どもの体験イベントを開催したりする場合は多くの部署に係ってもらい実施する必要がある。

今年はコロナ禍で分散登校があり、今年度の授業時間が削られている。小学校で50時間、中学校で30時間程度授業時間の不足している。

キッズデイとして平日に休みを取って親と触れ合うとなると、授業時間が削られているのでキッズデイの実施は難しい。

(山田委員)

キッズデイは今の時期だと医療従事者は参加できない。キッズデイにテーマパークに行っている親子が多いようだが、これだと本来の目的を達しているかは疑問。

キッズデイを喜んでいる保護者もいる一方で、平日休みを取れないという保護者の意見もある。

(太田教育長)

コロナ禍であるので、今のキッズウイークは、一時中止したい。コロナが終息したら検討キッズウイークの復活をしたい。ふれあい祭りをキッズデイにしてはと言う意見もあり。

(山田委員)

ふれあい祭りにぶつけるのはいいと思う。

(太田教育長)

学校と、地域が共同で開催するのもいい考えだと思う。

(雨宮指導監)

山田委員の意見が悩みどころ、キッズデイの開催において、有給休暇が保証され経済的にゆとりのある世帯はいいのだが、そういう環境でない保護者もたくさんいる。

平日休みでも地域や町の受皿が現在ない状態、受け皿の体制づくりをしなくてはならない。またキッズデイを開催するには今後のコロナの状況によるが、授業日数が足りなくなるのが課題

(石原委員)

平日の受皿の問題で事業を新たに起こすことは厳しい。

全体で集まるとなると休日利用がいいのではないか。

平日にこだわるとハードルが高い。

コロナ禍平日あえて休むのはいかなものか。

(太田教育長)

コロナ禍の今回はキッズデイを一時休止し、受け皿を考える。

(磯部委員)

SDGsについて町でも進めていくと思うが、富士川町 中央市などの自治体もSDGsを取り入れた施策を行っている。昭和町もSDGsの視点で施策を

実施していただきたい。

(塩澤町長)

職員もSDGsの研修を受けたりしてSDGsに対する認識を新たにし、環境や教育に取り入れていきたいと思う。

その他 特になし

(秋山総務課長)

本日は様々なご意見をいただきましたが、皆様からのご意見はこれからの教育行政の中で生かしていけるよう努力したいと思います。

以上をもちまして、令和3年度総合教育会議を終了いたします。

本日は、長時間にわたりありがとうございました。